

◇ 田中電気の情報発信NEWSレター ◇

●新製品情報 **NEW!**緊急地震速報受信機
(高度利用者向け)

『S-band EJ』

(エスバンド イージェイ)
～地震を事前に知らせる～(W) 200 × (D) 51.5 × (H) 188mm、1.3kg AC100V
(別途スタンド約400g)大切な命と財産を守るのは、
わずか“数秒”の判断です!

緊急地震速報受信機とは、気象庁が配信する緊急地震速報を受信して、**大きな揺れが来る前に、予想到着秒数と予想震度を知らせる**専用の装置です。新潟中越沖地震では、建設工事現場で、地震の約30秒前に受信し、**工事や重機の停止を指示。エレベーターを最寄階に自動停止**など、様々な機器の制御にも使用することも可能。生命を守ることや社会経済に与える損害を軽減するために非常に有効です。

地震発生

非常に強い揺れ
が来ます!

全員無事非難

地震発生後、最初にP波(初期微動)が伝わり、次にS波(主要動)が伝わります。P波は秒速約7km、S波は秒速約4kmで伝わります。地震の災害は主にこのS波によるものです。「緊急地震速報」では、この速度の差を利用し、実際に強い地震が到達する数秒～数十秒前に通知することが可能となります。

複雑な配線や設置工事不要

ワイヤレス受信方式 Sバンド波 (2.6GHz) で

安定した配信システム

全国に瞬時に配信可能な衛星通信。パラボラアンテナ不要

「構内放送」「警告灯」「無線機」
などに接続可能

被災時の状況が試聴出来ます

被災時の被災状況・余震・津波などのリアルタイムの
最新ニュースを入手できます(別途契約必要)緊急地震速報
について

速報には、通常TVやラジオで流れる一般向けと、専用受信機(エスバンドイージェイ等)で受信する**高度利用者向け**があります。一般向けでは震度5弱以上・原則1回のみ発信されますが、実際は技術的な遅延や、速報に気付かない等により、有効に活用されていないのが現状です。しかし、**高度利用者向けは、最大予測震度3以上、察知してから数秒～1分程度の間に数回(5～10回程度)速報を発信**するので、一般向けに比べ情報量が多く瞬時に正確な情報が得られ、更に様々な機器との連動により自動的に制御する等、大変有効に活用されています。

●お申込み、お問い合わせは フリーダイヤル

0120-150-712 マーケティング部 担当矢島まで

上記に関するお問合せは、0120-150-712 または info@akihabara-factory.com

秋葉原ファクトリーは田中電気のお客様のための窓口です

～面白アキバ情報～ 話題のネコカフェがアキバに！『ねこ・JaLaLa』



コーヒー4種類（300円）やハーブティやビールなど飲物も豊富。電気街、芳林公園の近く。基本的に優しい性格のネコちゃんばかりなので引掻いたり噛んだりされません

今、話題の“ねこカフェ”が秋葉原にオープンしました。どんなところか行ってみました。7～8匹のネコちゃんがいて聞いたのに見当たらない？と思ったら窓際で日向ぼっこしてたり、物陰で寝ていたり、まさに自由気まま。ネコちゃんの気が向けば一緒に遊んだり、撫でたり出来ます。見ていだけでも癒されます。中には週に1度必ず来てしまうという方も。癒しの空間としてお茶を飲みを訪れるという方もいるそうです。定員12名なので土日は予約でいっぱいとのこと。自然体のネコちゃんにふれあえば癒されること間違いナシ！あっという間に30分が過ぎてしまいます。最大利用時間は2時間。30分500円で、その後10分ごとに150円。



SHOP DATA 千代田区外神田3-5-5
TEL 03-3258-2525 11:00～19:00
(LO18:30) 年中無休 JR「秋葉原」より徒歩6分
¥500ー/30分（飲物は別途注文）

江戸の歴史

『寛永寺』（かんえいじ）

シリーズ No. 18

今年、NHK大河ドラマ「篤姫」大変な視聴率をあげている。篤姫の実父は薩摩島津家の一門である今和泉の領主島津忠剛とされている。鶴松城の北東にある上町で生まれ、島津一子とよばれ幼少から聡明で活発な娘として育った。徳川将軍後継問題で、次の将軍に一橋慶喜を推す一橋派と紀州派の対立があった。そんな折り、第13代将軍の家定の正室は二人とも若くして死去していたので、第三正室には丈夫で元気な正室が望まれ、先代11代将軍の家斉の正室であった広大院の血筋を引くものたちが島津家に対し正室に出すよう要求した。

将軍家興入れを前提として、1953年薩摩藩主の島津斉彬は一子を島津本家に養女として迎え名を篤子と改めることになった。本来、将軍の正室は公家からが正式であったことから、公家の頂点である近衛家にさらに養女として迎えるのである。篤子は3ヶ月間鹿児島で過ごした後、薩摩を出発して京の近衛家を訪問し、宇治などを見物して江戸の芝にある薩摩藩邸に入るのである。ペリーの来航や、徳川家が将軍の後継問題で二派が真っ向から対立する激動



上野寛永寺の家定の墓の隣に天璋院の霊廟がある。

の中で興入れであった。篤君はようやく将軍の御台所となり、大奥では篤姫君と呼ばれるが、将軍家定は生まれながらにして病弱で世継ぎを期待できる体ではなかった。病床の家定とはわずか1年半と実のない結婚生活を送る一方、幕末の動乱の中、自分の運命を切り開いていくことになる。家定亡き後、髪をおろして天璋院と名乗ったのはまだ20代前半のときであった。家定の後第14代将軍家茂もまだ13歳で丈夫でなく21歳の若さで病死する。1867年に第15代将軍となった徳川慶喜が大政奉還し天璋院は島津本家に徳川家の存続や慶喜の助命嘆願に尽力した。江戸城開城の際には大奥の品物を一切持ち出すことなく、徳川家の女の意地をみせるのである。天璋院は一橋邸に退き、300人近い大奥女中の再就職などを心配した。明治期に徳川家から少しの援助で過ごし、1883年東京の一橋邸にて48歳で死去、天璋院が亡くなった際手元に残ったお金は、わずか3円（現代の6万円）だったという。（日本歴史・人物伝参照）

編集後記 寛永寺は上野駅から上野公園を抜けて歩いて20分くらいのところにあります。歩いていく途中には江戸時代に建てられた重要文化財や明治初期に建てられた建物など、改めて歩いてみると知らないところがあるんだと新たな発見がありました。篤姫のお墓の横には生前篤姫が好きたった枇杷の木が植えられているそうです。